

平成23年度 新富町の教育

～夢を育み力をつける教育の創造を目指して～

新田小中学校の小中一貫校説明会

新富町教育委員会

平成23年度 新富町の教育 ～夢を育み力をつける教育の創造を目指して～

確かな学力を身につけよう

知育

◎確かな学力を目指す学力向上

- ・学習指導方法の工夫改善
- ・特別支援教育の充実
- ・指導力を高める職員研修の充実

基礎・基本の定着を図る学習指導法の改善

- 少人数指導体制の確立
- 電子黒板付デジタルテレビの有効活用
(一人一人のきめ細かな指導)

「読書のまち新富づくり」を
推進しよう

- 幼保小中連携による読書活動の推進
- ファミリー読書活動の促進
- 町図書館管理システムの構築
- 町立図書館整備計画の策定

新富町教育基本方針

本町の教育は、あらゆる教育の場を通して、教育基本法の理念を踏まえ人間尊重の精神並びに町民憲章を基調として

たくましい体 豊かな心 すぐれた知性

を備え、郷土に対する誇りを持ち、国際感覚にあふれ、社会の変化に主体的に対応できる心身ともに調和のとれた人間の育成を目指します。

小中一貫教育を推進しよう

- ・校区の実態に即した一貫教育の推進
併置型(新田地区)
併設型(上新田地区、富田地区)

個を大切にする特別支援教育を推進しよう

健やかで規律ある児童生徒を育てよう

徳育

◎生徒指導の充実

- ・基本的生活習慣の確立
- ・いじめ・不登校等の早期発見・解消
- ・人権教育の積極的推進

○「あいさつ運動」の推進

家庭・学校・地域で

○「早寝早起き、歯磨き、朝ご飯運動」の推進

体育

◎基礎体力の向上と健康・安全の徹底

- ・体力の向上と保健・安全教育の充実
- ・事故防止と危機管理体制の確立

食育

◎食に関する指導の推進

- ・望ましい食習慣の定着
- ・食に関する正しい知識の習得
- ・学校と家庭・地域が連携した食育

新富町の小中一貫教育の推進

併置型・・・新田小中学校

○新田地区の教育的・文化的拠点としての新しい新田小中学校
～小中一貫教育による健やかな児童生徒の育成を通して～

- 併置型の施設での教育実践
- 通常の学習指導要領に基づく教育実践



①小中学校相互乗入れ授業の実施

- ＊9年間の一貫性の「わかる授業」の展開
- ＊中1ギャップの解消
- ＊一部教科担任制導入



②児童生徒の一体化（ともに営む学校生活）

- ＊入学式、体育・文化的行事、読書推進、ボランティア等の合同実施
- ＊児童生徒一人一人の存在感の高揚と活動意欲、コミュニケーション能力向上

③小・中教職員の一体化（ともに励む教育実践）

- ＊小中一貫教育検討委員会、小中合同テーマ研究会
- ＊合同推進部会（8部会）



④地域と共に子どもを育むスタンスで

- ＊小中PTA組織の確立、学校・家庭・地域の一体化
- ＊地域の教育資源（物・人）～地域の人材活用 地域の歴史・伝統の教材化

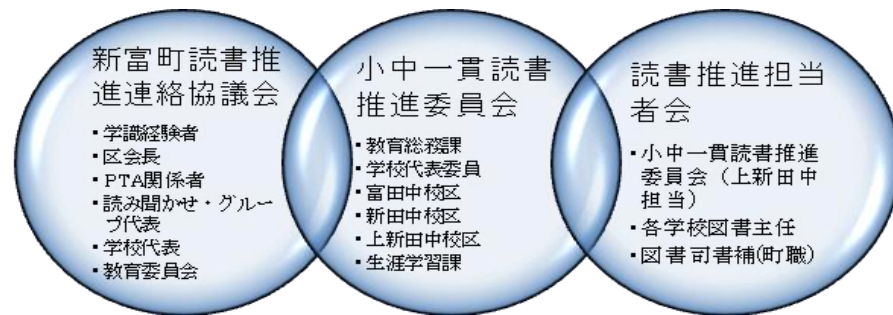
併設型・・・上新田小・中学校 富田小・中学校

- ①小・中学校の立地条件を踏まえて小中一貫教育推進に最適な施策を講ずる。
- ②小学校と中学校間の教諭及び児童生徒の相互交流を図る。
- ③学校行事を共同で実施する。（できる範囲において）

- ④小学校と中学校が教育内容の一貫性を図るための研究会を設置する。
- ⑤地域の教育力を活かす特色ある教育を進める。
- ⑥地域の教育力を活用し、幅広い年齢層の交流を通して心豊かな児童生徒の育成を図る。

新富町の小中一貫読書推進 （読書の町新富町）

(1)小中一貫読書推進の実践組織



(2)具体的な取組



①小中一貫読書推進委員会の設置

- ・推進の実施計画 基本プランの作成
- ・読書推進年間スケジュール立案 各グループの企画・実践

②読書推進連絡協議会の設置

- ・読書を軸とした家庭・地域・学校の円滑な活動の推進
- ・家庭や地域での読書推進のための情報交換や具体的な取組の検討及び実践

③読書推進担当者会の設置

- ・学校図書室の環境整備と読書推進方策の検討及び実践

④読書活動推進のための「広報活動」の実施

- ・読書活動やファミリー読書の取組状況等の広報 広報紙の定期発行

⑤ファミリー読書週間への取組

- ・毎月20日～26日をファミリー読書週間にして、家族（ファミリー）で読書活動を推進
- ・児童生徒はファミリー読書カードで記録 各校集計

小中一貫教育校を目指す 新富町立新田小・中学校の取組



小中合同福祉体験活動



読み聞かせ活動



小中合同始業式

平成24年度 新富町立新田小中学校 (小中一貫校)



平成23年度の諸準備



新田ならではの地域に根ざした小中一貫校の創造

小・中一貫校の意義

- 統一した教育方針が出せる。(保護者にとっても安心感)
- 9年間を見通した指導ができる。(出口に責任をもつ)
 - ・子どもたちの「発達」や「学び」は連続している。
 - ・「生きる力」をはぐくむためには、連続したシステムが有効である。
- 小学校・中学校の心の距離を縮める。(子ども、教師)
- 教育改革のチャンスである。(教育課程、職員組織等の見直し)
- 「少子化」や「学校の小規模化」への適切な対応ができる。
- 地域に根ざした、信頼される学校づくりができる。

学校の位置

宮崎県

宮崎県 新富町立新田小中学校

住所 宮崎県児湯郡新富町大字新田7717番地

TEL 0983-33-1014 FAX 0983-33-1636

URL <http://www.miyazaki-c.ed.jp/shintomi-nyuta-j/>

MAIL 4519jc@miyazaki-c.ed.jp

新富町

新富町

● 教育課程特例校として一貫教育
に取り組んでいる市町村

6市町村／26市町村

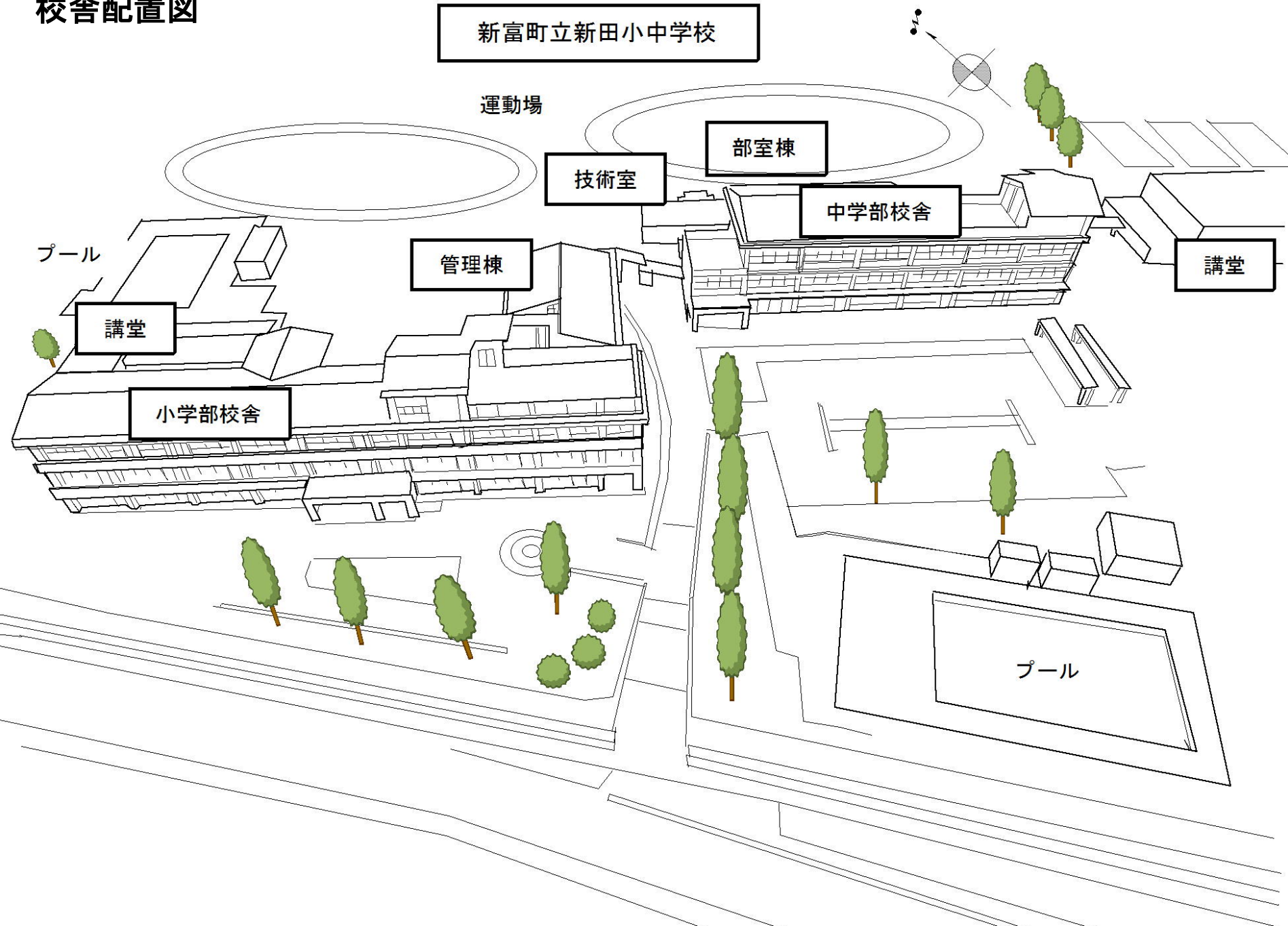
△ 学習指導要領の範囲内で一貫
教育に取り組んでいる市町村

9市町村／26市町村



校舎配置図

新富町立新田小中学校



【これまでの取組】

平成17年度～平成19年度

- 「知」・「徳」・「体」の到達目標による小中連携推進拠点校（小・中学校連携推進事業 3年間）

平成19年度

- 研究公開「小中連携推進事業」
- 新田小中学校建設検討委員会(3回)

平成20年度～ 小中一貫教育の研究

- 新田小・中学校建設検討委員会(6回)
- 「読解力育成」に係る小中合同研究(3年間)

H20「読み取る力の育成」 H21「考える力の育成」 H22「表現する力の育成」

平成23年度～ 小中一貫校への準備

- 小中一貫教育推進検討委員会〔教育委員会と学校・PTA〕
- 新田小中学校合同PTA役員会(3回)〔PTA〕

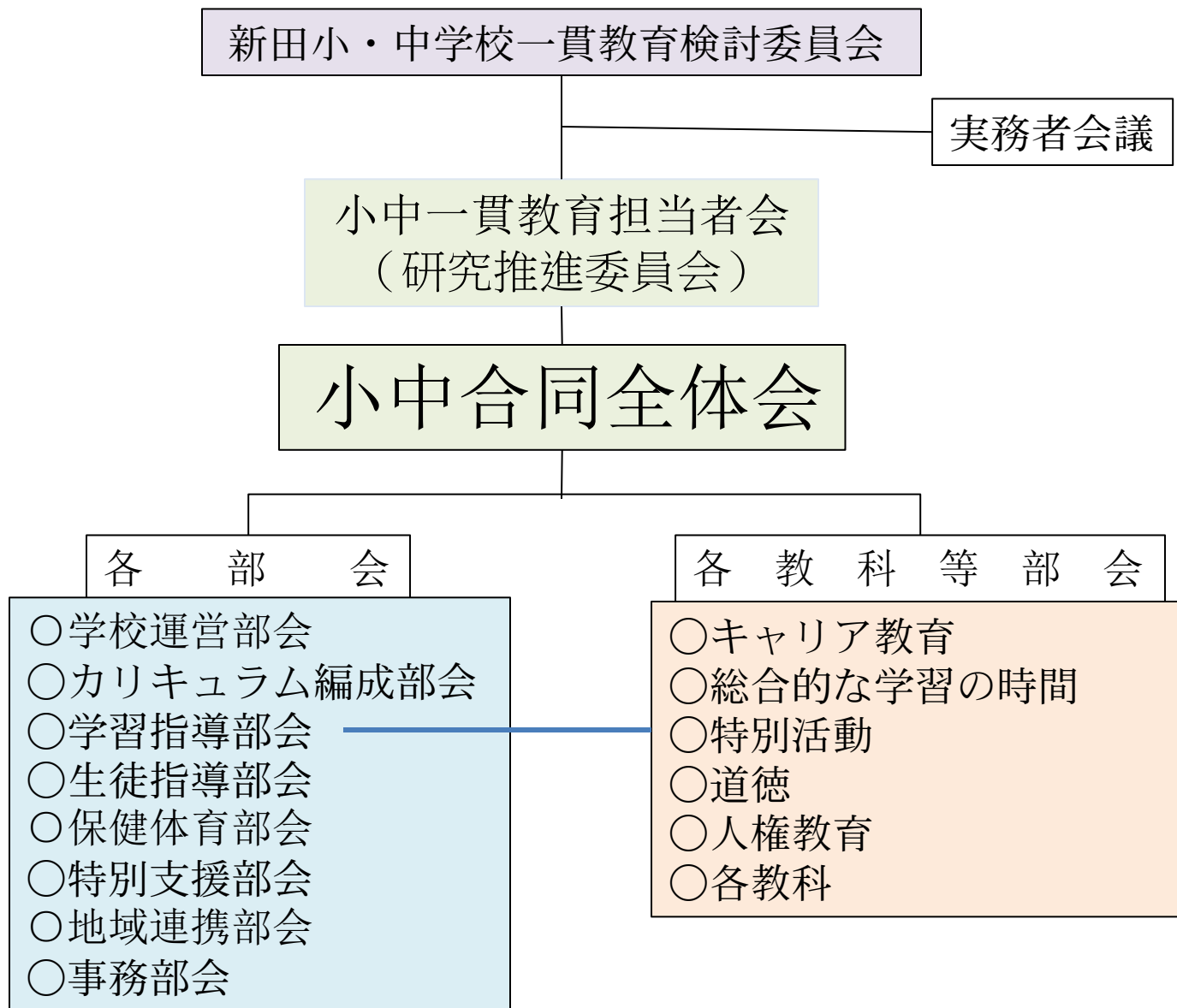


新田小中学校小中一貫校PTA検討委員会(6回)〔PTA〕

- 新田小中学校職員合同研修会(13回)〔職員研修〕
- 新田小中学校保護者説明会(10月3日・・本日)



平成23年度研究組織図



平成23年度研究計画

学期	月	日	曜	研 修 種 別	研 修 内 容	備 考
一 学 期	4	5	火	小中合同研修会	本年度の研究について これからの計画	春季休業中
	5	1 0	火	小中合同研究推進委員会	各部会の進行について	
		2 5	水	小中合同研修会	各部会の取組の検討	
		3 1	火	小中合同研究推進委員会	今後の研究の進め方について	
	6	8	水	小中合同研修会	取組の確認と学校訪問検討	
	7	5	火	小中合同研究推進委員会	休業中の取組について検討	
	夏季休業中 7月27日（水） 小中合同テーマ研 各教科部会等の研究推進 29日（金） （9ヶ年を見通した系統性の確認） 8月24日（水） 小中合同テーマ研					
	8					
二 学 期	9	1 3	金	小中合同研究推進委員会	学校訪問（中学校）について 今後の研修について	
		2 6	月	中学校のみ	学校訪問研究協議会	
	10	4	火	小中合同研究推進委員会	合同研修会の内容確認等 教科研究会について	
		2 6	水	小中合同研修会	学校訪問を受けての課題解決 について	
	11	1	火	小中合同研究推進委員会	小学校の学校訪問について	
		9	水	小中合同研修会	指導案検討 各部会での実施内容等の検討	
				小中合同研究推進委員会	研修会を終えての確認及び検討	
		2 4	木	小中合同研修会	学校訪問研究協議会	
				小中合同研推委員会	研修会を終えての確認及び検討	
	12	6	火	小中合同研究推進委員会	冬休みの課題について	
	1	冬季休業中 12月26日（月） 小中合同研修会 小中合同研究推進委員会 1月 6日（金） 小中合同研推				
	1	2 5	水	小中合同研修会	運動会・体育大会・文化祭等	

新富町立新田小学校



明治5年創立



児童数・・・257名

教職員数・・・23名

新富町立新田中学校

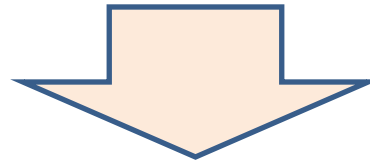


昭和22年創立



生徒数・・・127名

教職員数・・・16名



新田ならではの地域に根ざした小中一貫校の創造

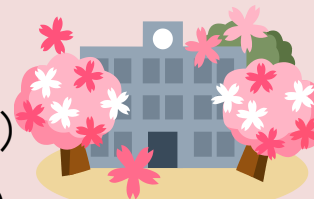
これまでの新田小・中学校の良さを残しつつ、より良い教育環境づくりに努める。

新富町立新田小中学校

平成24年4月1日創立

児童生徒数・・・384名(未定)

教職員数・・・・・・39名(未定)



※平成23年10月
愛称募集

【どのような学校になるのか】

- 学校経営方針や学校の教育目標が、9年間一貫したものになる。
 - 児童生徒の9年間を見通した、連続性を生かした教育を行う。
- 教職員の組織が一体化する。
 - 全職員が小学部・中学部の全児童生徒に関わる。
- 職員の授業への関わり方が見直される。
 - 小学部5・6年生に一部教科担任制を取り入れる。
 - 小・中学部本務の職員が相互乗り入れによる授業を行う。
- 行事等の多くが一体化する。
 - 入学式、始業式や終業式等の儀式的行事
 - 運動会・体育大会や学習発表会・文化祭等学校行事
 - 参観日
- 児童生徒の異年齢の幅広い交流活動を積極的に取り入れる。
 - 授業交流、清掃活動交流、児童・生徒会活動、学校の行事交流
- PTA組織が一体となる。【PTA検討委員会で一体化する時期を検討中】

○ 新しい一貫した教育の取組(主なもの)

入学式

新田小・中児童生徒の一員として、連帯感・所属感を高めるとともに、在校生、保護者、地域の方々が新入生を9年間で育てていこうとする意識をもつことができる。

運動会 体育大会

地域とともに一体となって取り組むことができる。内容は、検討中。

文化祭活動

児童が文化祭へ参加することで、中学部へのあこがれを持たせることができる。内容は、検討中。

乗り入れ 授業

教師の専門性を生かし、児童生徒に個に応じたきめ細かな指導ができる。



〔中学校数学科での様子〕

※ 一つの学校として、合同でできるものは積極的に実施していく。

○ 発達段階を考慮したこれまで通りの取組

授業時間

小学部45分、中学部50分

制服・体育服

制服の新調等、保護者の要望等あれば検討するが、現在は必要としない。

※ 卒業式については、平成24年度は式の意義を大切に、小中別々に実施するが、今後、合同実施も検討していく。

小中一貫校を目指した具体的な取組

【今後、検討・準備する事項】

【準備中の事項】

○教育課程のソフト面の創造

○PTA組織の一本化

校時程
乗り入れ授業

【準備ができた事項】

新田小中学校

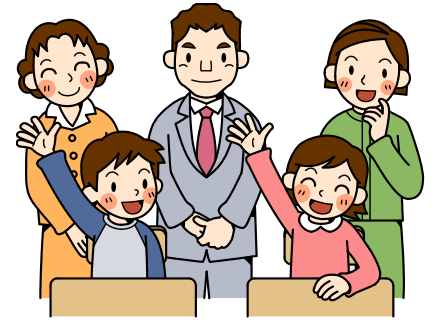
○一貫校への理解
(職員、PTA役員)

学校経営案
(夏季休業中に
検討)

○施設・設備のハード面の一体化

○組織・運営等のシステム面の刷新

○開校式典の準備(案内、パンフレット等)(5月予定)



PTAの取組



新田小中一貫校PTA検討委員会組織

全体会

※会長、副会長を選出

小学校PTA役員

中学校PTA役員

会長OB等

8月・・第1回検討委員会 組織等の検討

9月・・第2回検討委員会 検討結果見直し(説明会準備)

10月・・保護者説明会 (進捗状況説明 本日)

11月・・第3回検討委員会 検討結果見直し

1月・・第4回検討委員会 臨時総会準備

2月・・(臨時総会)

分科会

企画検討委員

(小中:会長、副会長、会長OB)

- ・・PTA規約及び役員等の組織づくり、開校式典準備
(PTA規約、役員等選出に係る規約、慶弔規定、部の活動の明確化)

事業計画検討委員

(小:事業部、会計
中:書記、会計)

- ・・事業計画の見直し PTA会計の在り方検討
(全体的に見た小中一本化する事業と別々の事業の調整と計画案の作成、会費徴収金額と集金方法及び収支予算の明確化)

学習活動検討委員

(小:教育部、中:総務部)

- ・・事業内容の見直し 具体的な計画案作成

生活指導検討委員

(小中:生活指導部)

- ・・事業内容の見直し 具体的な計画案作成

広報活動検討委員

(小:広報部、中:文化部)

- ・・事業内容の見直し 具体的な計画案作成

保健体育検討委員

(小中:保健体育部)

- ・・事業内容の見直し 具体的な計画案作成

会
員

PTA役員会

執行部

会 長 1名

副会長 2名(小中各1名)

書記 1名

会計 2名(小中各1名)

各専門部長 1名

監査 2名

顧問(校長)

幹事(教頭)

学級委員

専門部

学級委員
各クラス 1名教 育 部
各学級 1名生活指導部
各学級 1名広 報 部
各学級 1名保健体育部
各学級 1名事 業 部
各学級 1名

地区委員

子ども会長 1名

会計 1名

生活指導担当 1名

保健体育・事業 担当 1名

給食費集金 担当 小中各 1名

※中学部は、給食費集金担当のみ

役員推薦委員